

【事業名】

わが町の養阿四国札所の掘り起こし活用事業

【事業の目的】

旧鴨方町には養阿八十八カ所札所（養阿四国霊場）が開設され、多くの人々が信仰し賑わっていた。

今では、その賑わいの面影を見ることはできないが、札所巡りの魅力を掘り越して、意義を再認識し超高齢化社会における健康増進に活用していき「自慢出来る町づくり」につなげていく。その為の手段として、札所巡りを実際に体感しその魅力、素晴らしさを市内外へ発信し、多くの人たちが浅口へ目を向けるようにしていく。

また、札所の石仏は文化財として歴史的価値が非常に高く、わが町の貴重な財産であり、掘り起こして後世へ伝承していくことが大切である。

【役割分担】

提案団体・・・八十八カ所札所の整備

ワークショップ（模擬札所巡り）の開催

八十八カ所札所のガイドブック作成

浅口市・・・文化振興課

・イベント開催等で指導・教示

・札所調査時の史料等の必要文献提示

【事業実績】

◎札所調査

88ヶ所 1番から88番

◎調査内容

寺名・本尊・設置時期・お堂の有無・札所番号取付け可否・雑草の状況など

◎実調査

予備調査（調査準備が目的）を6月から3回実施

本調査を10月から12月まで14回実施

調査延べ人数：74名（1回平均5～6人）

◎参道の整備

草刈り・樹木伐採

◎札所番号の取付け

原則、立札としたが、地盤の関係等で設置不可地については、台付きとした。

◎養阿四国霊場ミニ札所巡り実施

平成31年3月17日(96名参加)

◎八十八カ所札所のガイドブック作成(400部)

配布先・・・養阿関連地域、国会図書館、県立図書館、近隣行政地区図書館、学校関係など

【事業の成果】

養阿四国霊場ミニ札所巡りの実施により浅口を周知でき、また、歩くことによる健康増進向上対策にもつながった。

八十八カ所札所のガイドブックを作成し、後世へ伝承していくことができる。

参道整備等の時、地元の方の関心度が高く、以前より養阿を訪ねる人が増え愛着がよりわいたのではないかと思われる。

★札所調査・設置の様子★

